

### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2172200210		
法人名	株式会社 共寿		
事業所名	グループホーム海津 福寿苑		
所在地	岐阜県海津市海津町福江627		
自己評価作成日	令和3年11月15日	評価結果市町村受理日	令和4年2月21日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kai.gokensaku.nhi.w.go.jp/21/index.php?act=on_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;g_yosyoOd=2172200210-00&amp;SerVi.ceOd=320&amp;Type=search">https://www.kai.gokensaku.nhi.w.go.jp/21/index.php?act=on_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;g_yosyoOd=2172200210-00&amp;SerVi.ceOd=320&amp;Type=search</a>
----------	---

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 旅人とたいようの会		
所在地	岐阜県大垣市橋町1丁目3番地		
訪問調査日	令和4年1月20日		

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様一人一人が その方らしく暮らしていただける環境づくりに配慮し尊厳が守られるケアを念頭に置き 支援に努めている。又重症化の状況にも対応しご家族様や主治医と連携を図りながら終身までみとらせていただく体制づくりをしています。常日頃より家族様からの相談や要望にも耳を傾けてご本人のみでなくご家族様にもご満足いただけるケアが提供できるように努めています

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

職員は、利用者が生き生きと、生きがいをもって生活が送れるように、利用者の出来る事と残存能力を活かす支援に取り組んでいる。洗濯物たたみ・料理の下ごしらえ・新聞折り・居室の片づけ等活躍する場を作り、感謝の言葉を伝えて張り合いや楽しみのある生活にしている。コロナ禍で地域交流や外出が出来ないが、休日に隣接のデイサービスを借りて喫茶店風に設えモーニングをしたり、駐車場にテーブルを出して弁当や寿司を食べて外食気分を味わったりして楽しんでいる。コロナ終息時に利用者が好きな喫茶店や回転寿司に出かけ利用者の喜ぶ顔を見るのを楽しみにしている。管理者は、職員の家庭環境を把握し、悩みには親身になって相談にのっている。家庭事情を考慮した勤務や急な休みにも応じて穏やかに仕事出来る働きやすい職場作りに努め、職員を大切にしている事業所である。

### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎月ユニット会議において運営理念、職員の心得唱和(黙読)してもらおう。全員で理念の共有している、日々実践出来るように努めている	法人の理念を基に、ユニット毎に年度目標と個人目標を立てている。思いやりと笑顔で接し、利用者が生き生きとした生活が送れるように取り組んでいる。会議で日々のケアを振り返り、年度末に目標の達成を評価して次年度の目標に繋げている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	周辺の散歩に出かける、コロナが終息したら外出支援したり近くの幼稚園児や小学校と交流会を再会したい	自治会に加入しており、地域には認知症対応の事業所であることの理解を得ている。散歩時に近隣の人と会釈や手を振って挨拶している。隣接の美容院にも行っている。幼稚園・小学校と手紙で連絡し合って交流が再開出来るように努めている。	コロナ感染終息時には、幼稚園・小学校を始めとする例年のような地域交流を再開出来るように取り組み、更なる地域との関係を深められることを期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議において民生委員児童委員の方々を通じて認定調査、認知症についてのお話をする事がある。退所後のアドバイスやサービスの利用について情報提供を行っている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	4施設合同の運営推進会議において、活動状況や取り組みを報告することによって、お互いを高められる様努力している。ご家族や地域の方々の意見を伺い、サービス向上に活かせるよう努めている	今年度は書面会議となり、事業所の状況・活動・行事予定・職員の異動や事故報告と一緒に意見を求める用紙を同封して郵送している。自治会長から地域の一番心配である水害時の避難に対する意見や提案を貰い話し合いをしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議に高齢介護課及び消防署幹部の出席のもと、活動状況を把握していただいている。困難事例等の相談や情報提供を行い連携を深めている	市の担当者とは顔馴染みで話しやすく、生活困窮者や後見制度の相談、コロナ感染対策の確認等をしている。独居の方の受け入れや市事業の認知症のパンフレット作成の委員に参加する等協力関係を築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関する勉強会を行っている。職員会議を通じて理解徹底に努めている。入所されているご利用者様に拘束をしない対応を心がけている	身体拘束に関する研修や委員会の報告を全職員が内容を理解し、一例を議題にして拘束をしないで安全に過ごせるにはどうしたらいいのかを話し合っって身体拘束をしないケアに取り組んでいる。言葉や対応においても虐待の芽チェックリストで確認しながら各自が日々のケアを振り返っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会で学んだ内容を参考に、職員会議で勉強会を実施し、正しい知識を理解するように話し合い重ね検討するような管理体制、職場風土の構築に取り組んでいる		

グループホーム海津「福寿苑」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度は勉強会のテーマになっている。必要が生じた場合は日常生活支援事業や成年後見制度が活動できるよう支援していく		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約内容に変更がある場合は、その都度説明し同意を得ている。今年度は11月に口腔衛生管理体制加算について説明、同意をもらっている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族様には日頃から話しやすい雰囲気づくりに努めている。ご意見をいただいた時は、職員間で共有し運営の向上にも取り組んでいる。ご利用者ご家族様アンケートも実施している	日々の生活の写真と手紙で利用者の様子を知らせ意見や要望を聞いている。直接電話で聞くこともある。また、毎年アンケートを行い質問や要望等記入してもらっている。コロナ禍でも窓越しの面会を行ない、声も聞きたいとの要望に携帯電話を使用して対応している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員から出た意見がトップに反映するよう意見の出しやすい職場づくりに心がけている。管理者、常務による個人面談も行っている	管理者は、日頃から職員の意見や提案を聞いている。リビングのテーブルの変更や配置などの提案を取り入れている。家庭環境を把握し、事情に配慮した勤務や急な休みにも対応して、安心して働きやすい環境作りに努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は管理者との密な連携や職員がやりがいをもって働ける職場を目指して、一人一人の生活環境を理解して勤務体制を整え、キャリアアップが出来るように指導している		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個々の経験やキャリアに応じて研修の参加を促し、心のトレーニングをするように努め、全職員がスキルアップできるよう努めている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	トップマネジメント会議での毎月の会議や勉強会を実施することで情報交換できる場がある。2ヶ月に1度のケアマネ会議の参加により同業者との交流もしている		

グループホーム海津「福寿苑」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面接、ご家族の入所申し込み時、生活状況、家族状況を把握するように努めている。ご本人の気持ちを受け止め、寄り添いながら入所生活をに活かせる信頼関係づくりにつとめている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	今までのご家族様の苦労やサービスの利用状況や経緯について話を伺いながら、早期に信頼関係をきづける様に努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談事やご本人や家族の思い状況等、確認したうえで可能な限り柔軟な対応を行い、必要としている支援に添えるよう相談を繰り返すことに努めている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の思い、苦しみ、不安、喜びなど傾聴して共感し、ともに支え合える関係をきづける様に努めている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の思いに寄り添いながら、日々の暮らしの出来事や気づきの情報の共有に努め、ご本人を支えていくための協力関係がきづける様に努めている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族が利用されている馴染みの理容院や医院が今でも継続されている。人とのつながりが継続出来るように支援させていただいている	馴染みの美容院に孫と一緒に出かける利用者もいる。日々の生活や行事等の写真で利用者の様子を知らせたり、窓越しに声を聞きながらの面会を行ったりして家族との関係継続に努めている。遠方の親戚へ写真と手紙を送った際に、返信に往復はがきが届き返事を書く支援を行った。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	楽しくお食事したり、エントランスでお茶会を催し体操や散歩等を利用して関係が円滑になるように働きかけている		

グループホーム海津「福寿苑」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の施設に移られた場合でも、相談に乗ったり状況把握に努めている		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の暮らしの中で雰囲気やしぐさ、言葉、動作などから思いや意向の把握が出来るように信頼関係の把握に努めている。困難な場合は、ご家族からの情報を元にケアを生かせるように努めている	出勤時の挨拶で利用者のその日の気分や状況を把握し、声かけをして思いや希望を聞いている。困難な人には、家族からの情報や生活歴などを参考に、動作や仕草から把握するように努めている。一人でゆっくり過ごしたい人もあり、本人の思いを大切にしたい支援に取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	プライバシーに配慮しつつご本人やご家族様等のかかわりの中で生活歴やなじみの暮らし方等取り入れていけるように努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様一人一人の生活のリズム・心身状況を記録し、職員が情報を共有し、申し送りなどを取り入れ現状の把握に努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人や家族様に日々の生活の中で思いや意見を職員が共有し意見交換を行っている。それらを基に介護計画を作成するように努めている	毎月担当者が行うモニタリングを基に、本人・家族の希望を聞いて3ヶ月毎に担当者会議で話し合っ介護計画を作成している。事前に医師から意見を聞くこともある。状態変化時やモニタリングから必要に応じて見直ししている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のファイルに食事量・水分量・排泄状況等身体的状況・日々の暮らしの様子を記録し申し送りし、職員間で状況を共有し実践や介護計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人やご家族様の状況に応じて送迎や介護タクシーの導入等、個々の満足度を高めるような柔軟な支援が出来るよう努めている		

グループホーム海津「福寿苑」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議に行政・消防署・民生委員・駐在所・自治会長等の参加を呼びかけ、周辺状況や支援に関する情報の交換、協力関係を気づけるよう努めている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所時も入所後もご本人の気持ちご家族の希望を確認しながら、協力医療機関がかかりつけ医での継続的な医療が受けられるように支援している。状況に応じ家族に代わり受診の付き添いも行っている	入居時に希望で協力医に変更する人もいる。家族の付き添いでかかりつけ医へ受診する時は、看護師から書面又は口頭で状態を伝え、受診後に報告を受けている。状況により看護師が付き添う事もある。協力医とは24時間連絡がとれ、かかりつけ医受診の利用者も対応してもらえ安心である。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々のかかわりの中で体調変化や健康管理に注意を払い、早期の段階で家族に報告し協力医療機関に受診し投薬できるように心がけている。施設看護師不在時による併設看護職員との連携を図り対応している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には利用者様が安心して治療が受けられるよう医師と連絡連携をはかり、情報提供するよう心掛けている。入院時も出来るだけ見舞い、早期に退院支援に結び付けられるよう情報交換している		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期について状況が変化した時など、家族と話し合いを重ねて確認し合い、かかりつけ医、協力病院と連携をとりながら対応している	入居時に事業所の方針を説明している。状態の変化に伴い、家族の希望を再確認して医師・家族と話し合い終末期の支援に取り組んでいる。医師・管理者・看護師が連携を取り、職員が不安にならないよう努めている。コロナ禍でも最期の時間を家族も一緒に過ごせるようにしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時に迅速に対応できるようマニュアルや連携網を作成し設置している。救命訓練を実施している		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進会議の場を利用し、周辺の福祉施設、市町村、警察署との協力体制と、地域住民の方の災害対策や体制について協力体制の構築に結び付けられるよう努めている	夜間想定を含む避難訓練を利用者も参加して実施している。人手のない夜間災害時は隣接する事業所と連携がとれる体制を構築している。自治会長と地域の水害時の避難方法や協力体制等の話し合いをしている。	

グループホーム海津「福寿苑」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の人格を尊重して言葉のかけ方等についても会議で話し合い、ご本人の気持ちを大切に自尊心をきず付けることのないさりげないケアにこころ掛けている	一人ひとりの自尊心を損なわない対応や声かけについて、勉強会などで話し合って日々のケアに繋げている。接遇チェックリストで自己評価と他職員からの評価を行い、必要に応じて研修会を増やして改善に努めている。利用者の呼び方は、本人・家族の希望を聞き、〇〇さんと統一している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の方に合わせた声掛けをして、日常の中で表情や反応を注意深く観察しながらご本人の選びやすい場面づくりを行っている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のペースを大切に、それに合わせた対応をこころがけている。その日のコンディション、その時のタイミングを見ながら希望を聞いたり相談しながら過ごしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着替えは基本的にご本人の意向で決めている。決められない方は職員が行っている。美容院に出かける希望の方は希望に合わせて出かける		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の食事形態に合わせてお食事を楽しんでいただけるように工夫している。お誕生日、季節の料理、行事の料理など楽しみながら食べて頂けるようにしている	お絞り作りや料理の下ごしらえ等、出来る事を一緒に行っている。おせち料理・恵方巻やちらし寿司等の季節メニュー、誕生日には本人の好みのメニューにして食事を楽しんでいる。エントランスでお茶会をしたり、駐車場にテーブルを用意して弁当や寿司等で外食気分を楽しんだりしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	体調と1日の摂取量を毎日把握している。食事量、水分量も個別に確認するようにしている。排泄状況も確認しつつ支援方法を考えて支援している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人一人の状況に沿った個別支援にて口腔ケアを行っている。歯科医院より口腔ケアの指導をスタッフも受けている		

グループホーム海津「福寿苑」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人の出来る力や排泄のパターンや習慣を把握し、トイレでの排泄や自立に向けた支援、トイレに誘導し座ることでの排泄習慣を大切にしている	その人の出来る能力に合ったトイレでの排泄を基本に支援している。夜間もトイレでの排泄を見守りしている。オムツ使用者も一日一回以上はトイレで排泄するように二人介助で取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄パターンを記録し、十分な水分摂取の提供に取り組んでいる。身体を動かし散歩、体操、好きな飲み物を飲んで頂く時間等工夫している		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	希望に合わせてタイミングに合わせて入浴して頂けるよう支援している。気分を変えリラックスして頂けるよう入浴剤なども入れるようにしている	順番や時間など希望に合わせ、体調を確認して入浴支援をしている。好まない人には、スタッフを交代したり、日時の変更や声かけを工夫したりして対応している。入浴剤やシャンプー・美容液の持参もあり入浴を楽しみにしている。着替えも自分で選びおしやれを楽しむ人もいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中はリビングにて過ごしていただいている。活動を促して生活のリズムを整えるように努めている。また体調や体力に合わせて休息いただけるように努めている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の処方・効能・副作用の説明ファイルを保管し、職員が内容を把握できるようにしている。服薬後きちんと服用できたか確認している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人の力が発揮してもらえるようお願い出来る仕事を頼み感謝の言葉を伝える。新聞折り・洗濯物たみ・広告折り等		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	気分転換に散歩に出かけたりエントランスでのティータイム・コロナが終息したら希望の回転すしに出かけたり・近くの喫茶店に出かける	コロナ禍で遠くに外出できないが、散歩に出かけたり、土筆取りや近所の彼岸花・桜を見に行ったりして季節を味わっている。隣接の法人のデイサービスの休日に喫茶店風にしてモーニングをしたり、事業所駐車場で弁当を食べたりして外出気分を楽しむ支援をしている。	



グループホーム海津「福寿苑」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金に関する不満が生じないようご家族と話し合い、満足していただけるように支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の希望により、家族に電話しやすいように声かけをおこなう。掛けられない場合は職員が支援している		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花や行事を行った写真などを活用しながら暮らしの場を整えている	玄関ホールに利用者と一緒に作った干支の寅のちぎり絵、四季の花を飾り季節感を採り入れている。リビングのソファで利用者同士がくつろいだり、畳コーナーで洗濯物たたみをしたりして思い思いに過ごしている。換気や消毒など感染対策にも心がけている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事時やリビングの席は、仲の良い方、ご夫妻等くつろげるように工夫している。反対に一人で過ごしたい方も希望にそうよう支援している		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族の写真やなじみの品思い出の物を置いていただき、居心地よく安心して過ごしていただけるよう工夫している	使い慣れた寝具・テレビや机・化粧品等を持ち込み、行事や家族写真・趣味の作品を飾ってその人らしい居室にしている。片付けを自分でする人もあり、テレビを見て過ごす、食後休憩をする等、思い思いの暮らしを支援している。畳を敷いて和室仕様にも対応している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	混乱や失敗が生じた時は、その都度、職員で話し合いご本人の不安を取り除き、自立支援に繋げられるよう工夫している		

### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2172200210		
法人名	株式会社 共寿		
事業所名	グループホーム海津 福寿苑		
所在地	岐阜県海津市海津町福江627		
自己評価作成日	令和3年11月15日	評価結果市町村受理日	令和4年2月21日

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

--

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kai.gokensaku.nhi.w.go.jp/21/index_php?act=on_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;i_gyosvoOd=2172200210-00&amp;SerVi.ceOd=320&amp;Type=search">https://www.kai.gokensaku.nhi.w.go.jp/21/index_php?act=on_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;i_gyosvoOd=2172200210-00&amp;SerVi.ceOd=320&amp;Type=search</a>
----------	---

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 旅人とたいようの会		
所在地	岐阜県大垣市橋町1丁目3番地		
訪問調査日	令和4年1月20日		

#### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎月ユニット会議において運営理念、職員の心得唱和(黙読)してもらう。全員で理念の共有している、日々実践出来るように努めている		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	周辺の散歩に出かける、コロナが終息したら外出支援したり近くの幼稚園児や小学校と交流会を再会したい		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議において民生委員児童委員の方々を通じて認定調査、認知症についてのお話をするがある。退所後のアドバイスやサービスの利用について情報提供を行っている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	4施設合同の運営推進会議において、活動状況や取り組みを報告することによって、お互いを高められる様努力している。ご家族や地域の方々の意見を伺い、サービス向上に活かせるよう努めている		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議に高齢介護課及び消防署幹部の出席のもと、活動状況を把握していただいている。困難事例等の相談や情報提供を行い連携を深めている		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関する勉強会を行っている。職員会議を通じて理解徹底に努めている。入所されているご利用者様に拘束をしない対応を心がけている		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会で学んだ内容を参考に、職員会議で勉強会を実施し、正しい知識を理解するように話し合い重ね検討するような管理体制、職場風土の構築に取り組んでいる		

グループホーム海津「福寿苑」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度は勉強会のテーマになっている。必要が生じた場合は日常生活支援事業や成年後見制度が活動できるよう支援していく		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約内容に変更がある場合は、その都度説明し同意を得ている。今年度は11月に口腔衛生管理体制加算について説明、同意をもらっている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族様には日頃から話しやすい雰囲気づくりに努めている。ご意見をいただいた時は、職員間で共有し運営の向上にも取り組んでいる。ご利用者ご家族様アンケートも実施している		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員から出た意見がトップに反映するよう意見の出しやすい職場づくりに心がけている。管理者、常務による個人面談も行っている		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は管理者との密な連携や職員がやりがいをもって働ける職場を目指して、一人一人の生活環境を理解して勤務体制を整え、キャリアアップが出来るように指導している		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個々の経験やキャリアに応じて研修の参加を促し、心のトレーニングをするように努め、全職員がスキルアップできるよう努めている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	トップマネジメント会議での毎月の会議や勉強会を実施することで情報交換できる場がある。2ヶ月に1度のケアマネ会議の参加により同業者との交流もしている		

グループホーム海津「福寿苑」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面接、ご家族の入所申し込み時、生活状況、家族状況を把握するように努めている。ご本人の気持ちを受け止め、寄り添いながら入所生活をに活かせる信頼関係づくりにつとめている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	今までのご家族様の苦労やサービスの利用状況や経緯について話を伺いながら、早期に信頼関係をきづける様に努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談事やご本人や家族の思い状況等、確認したうえで可能な限り柔軟な対応を行い、必要としている支援に添えるよう相談を繰り返すことに努めている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の思い、苦しみ、不安、喜びなど傾聴して共感し、ともに支え合える関係をきづける様に努めている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の思いに寄り添いながら、日々の暮らしの出来事や気づきの情報の共有に努め、ご本人を支えていくための協力関係がきづける様に努めている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族が利用されている馴染みの理容院や医院が今でも継続されている。人とのつながりが継続出来るように支援させていただいている		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	楽しくお食事したり、エントランスでお茶会を催し体操や散歩等を利用して関係が円滑になるように働きかけている		

グループホーム海津「福寿苑」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の施設に移られた場合でも、相談に乗ったり状況把握に努めている		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の暮らしの中で雰囲気やしぐさ、言葉、動作などから思いや意向の把握が出来るように信頼関係の把握に努めている。困難な場合は、ご家族からの情報を元にケアを生かせるように努めている		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	プライバシーに配慮しつつご本人やご家族様等のかかわりの中で生活歴やなじみの暮らし方等取り入れていけるように努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様一人一人の生活のリズム・心身状況を記録し、職員が情報を共有し、申し送りなどを取り入れ現状の把握に努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人や家族様に日々の生活の中で思いや意見を職員が共有し意見交換を行っている。それらを基に介護計画を作成するように努めている		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のファイルに食事量・水分量・排泄状況等身体的状況・日々の暮らしの様子を記録し申し送りし、職員間で状況を共有し実践や介護計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人やご家族様の状況に応じて送迎や介護タクシーの導入等 個々の満足度を高めるような柔軟な支援が出来るよう努めている		

グループホーム海津「福寿苑」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議に行政・消防署・民生委員・駐在所・自治会長等の参加を呼びかけ、周辺状況や支援に関する情報の交換、協力関係を気づけるよう努めている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所時も入所後もご本人の気持ちご家族の希望を確認しながら、協力医療機関がかかりつけ医での継続的な医療が受けられるように支援している。状況に応じ家族に代わり受診の付き添いも行っている		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々のかかわりの中で体調変化や健康管理に注意を払い、早期の段階で家族に報告し協力医療機関に受診し投薬できるように心がけている。施設看護師不在時による併設看護職員との連携を図り対応している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には利用者様が安心して治療が受けられるよう医師と連絡連携をはかり、情報提供するよう心掛けている。入院時も出来るだけ見舞い、早期に退院支援に結び付けられるよう情報交換している		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期について状況が変化した時など、家族と話し合いを重ねて確認し合い、かかりつけ医、協力病院と連携をとりながら対応している		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時に迅速に対応できるようマニュアルや連携網を作成し設置している。救命訓練を実施している		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進会議の場を利用し、周辺の福祉施設、市町村、警察署との協力体制と、地域住民の方の災害対策や体制について協力体制の構築に結び付けられるよう努めている		

グループホーム海津「福寿苑」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩である方々に尊厳の気持ちをもって接し一人ひとりの人格を尊重し誇りやプライバシーを損ねない言葉かけにて対応している		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で、ご本人が話される少しの言葉や表情から真意をくみ取りご本人に対するケアの情報共有に活かしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の過ごし方を把握したうえで、体調や天候などを考慮し過ごしていただけるように支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入浴時の着替えはご本人に洗濯して頂いたり汚れた服はすぐ交換し、整髪支援はご本人やご家族の意向に応じて支援している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご本人の好物を把握して季節の物を嚥下状態に応じて個別の食事形態にて提供している		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量水分量は、介護記録に記入して、一人一人の体調等も一目で見られるようにしている。状態に合わせて食事形態、食事ペースにあわせて提供できるようにしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯磨きや義歯の手いれが出来る方は、ご自分で行っていただきその状態にあった支援にて口腔ケアを行っている		



グループホーム海津「福寿苑」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個別に排泄パターンを把握しご本人の表情やサインを見逃さず迅速に対応する。昼間はトイレでの排泄支援に努めている		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ご本人の排便状況を把握し水分を多めに摂取して頂く。体操や散歩の声かけ腹部のマッサージも行う		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	個浴にご自分のペースでゆっくり入浴できるようにしている。入浴剤や冬至のゆず湯等季節感も味わっていただいている		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者一人一人の体調や体力を把握し適度に昼寝を行うなどして休息したり安眠できるような環境を整えている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	新しい処方箋は職員が何時でも確認できるよう設置してある。利用者の状態に応じて確実に服薬できるよう飲みやすさ、飲むタイミングの工夫をしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	1日のかかわりの中で気分転換もかねて出来る事を見つけ出し楽しみにつながるよう掃除等のお手伝いも一緒に行っている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者の体調や天候に応じて行っている。エントランスでのお茶会、散歩コロナが終息したら喫茶店に出かけたい		

グループホーム海津「福寿苑」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人がお金に関する不安や不満が生じないようにご家族と話し合い満足していただけるように支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の希望により電話しやすいように声かけし直接お話しできるように支援している。掛けられない場合は職員が支援している		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関にイベントの飾りつけをして季節感を取り入れ生活感が伝わる工夫をして心安らげるようにしている		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビング内のソファーや食卓席には仲の良い方が近くで過ごせるように工夫している		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人が使用されていた筆筒、使い慣れたものを居室に置いていただき精神的に負担がかからないようにしている		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	歩行や車椅子での導線確保に気を配りご本人の不安を取り除き自立支援に繋がられるよう工夫している		